

フィルム代替素材を使用した“脱プラ”ラベル素材を発売

当社ではフィルムの代わりに耐水性のある紙を表面基材に使用したラベル素材を開発し、「PLALESS」シリーズとして7月から販売を開始しました。クリーニングタグなどに使われている当社耐洗紙の製造技術を応用することで、優れた耐水強度を実現。耐水性との両立が難しかった印刷適性も付与しています。植物由来原料を利活用したバイオマス粘着剤を使用したタイプと、製造工程で有機溶剤を必要としないエマルジョン粘着剤を使用したタイプをラインアップ。昨今、高まりつつある脱プラスチック需要に応えるラベル素材として、各種商品の表示ラベルや商品を店頭で目立たせるために貼られるアイキャッチラベル用途を中心に拡販に努めていきます。



商品の表示ラベルやアイキャッチラベル用途に



優れた耐水性を発揮

板橋区の新型コロナウイルス感染拡大防止に貢献

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、本社のある東京・板橋区でさまざまな支援活動を行いました。当社の子会社であるプリンテック(株)と共に、人との距離を保つように呼びかけるフロアマーキングを製作。区役所本庁舎や店舗の床面などに施工し、ソーシャルディスタンスの確保に寄与しています。また、食事のテイクアウトができることを知らせるためのステッカーも提供し、コロナ禍で集客に苦心している区内の飲食店でご活用いただきました。さらに、医療機関で一部の医療物資の調達が困難になっていることを受け、当社の技術を応用して取引先の協力を得ながら製作したフェイスシールド1万個も寄贈。医療従事者の方々の負担軽減につなげていただいています。



滑りにくさなどの安全性に配慮したフロアマーキング



飲食店向けに提供したステッカー

リンテックの エコひいき

小さなことから一つずつ
リンテックの環境配慮

「リンテックのエコひいき」をテーマに、皆様の身の回りで活躍する当社のさまざまなエコロジー製品や、環境配慮への取り組みを影絵風のビジュアルを使って表現した新聞広告シリーズです。

【掲載紙】

日本経済新聞、讀賣新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報



7月 July 掲載広告

地球温暖化防止の観点から、省エネルギーの推進は時代のニーズといえます。そこで当社が提案するのが、窓ガラスに貼るだけで日射熱をカットできるフィルム。窓からの景観を保ちながら冷房効率を高めて、省電力やCO₂排出量の削減に貢献します。



8月 August 掲載広告

当社ではクリーニングタグに使われる耐洗紙の製造技術を応用し、優れた耐水強度を持つ紙ラベル素材を開発しました。耐水性との両立が難しかった印刷適性も付与することで、プラスチック代替素材として提案を進め、脱プラ需要にお応えしていきます。



9月 September 掲載広告

環境配慮ニーズの高まりを受け、当社ではトウモロコシ由来のバイオマス原料を使ったラベル用保護フィルムを発売。このほかにも、バイオマス粘着剤を採用したラベル素材の展開にも注力しており、石油資源の使用量削減に努めています。

詳しくはwebサイトに掲載中!

DREAM FACTORY

www.lintec.co.jp/dream/ad

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	160,384	163,660
固定資産	113,803	115,311
① 資産合計	274,188	278,972
流動負債	64,302	66,119
固定負債	19,803	20,554
② 負債合計	84,106	86,674
③ 純資産合計	190,082	192,298
負債純資産合計	274,188	278,972

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間
④ 売上高	56,023	58,563
売上総利益	13,911	13,855
販売費及び 一般管理費	10,366	10,821
⑤ 営業利益	3,545	3,033
経常利益	3,478	2,795
税金等調整前 四半期純利益	3,478	2,795
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,421	1,875
四半期包括利益	555	2,227

ポイント!

① 資産合計

現金及び預金、受取手形及び売掛金、のれんが減少したことなどにより、総資産は47億83百万円減少しました。

② 負債合計

1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等が減少したことなどにより、負債は25億67百万円減少しました。

③ 純資産合計

為替換算調整勘定が減少したことなどにより、純資産は22億16百万円減少しました。

④ 売上高

アドバンストマテリアルズ事業部門は増加しましたが、そのほかの事業部門が新型コロナウイルス感染症の拡大による需要低迷を受けて減少したことなどにより、売上高は25億40百万円減少しました。

⑤ 営業利益

アドバンストマテリアルズ事業部門の増収や主要原材料であるパルプ価格の下落などにより、営業利益は5億11百万円増加しました。

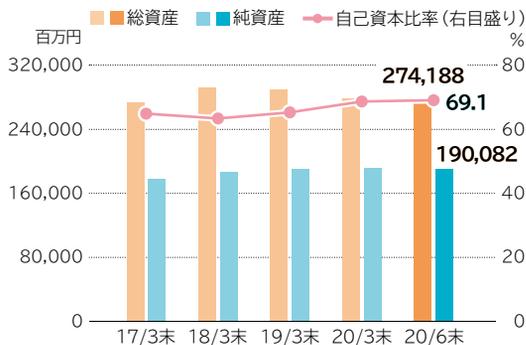
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

営業利益の増加などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億46百万円増加しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	6,335	2,271
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,404	△2,435
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,466	△4,319
現金及び現金同等物の 四半期末残高	50,945	53,858

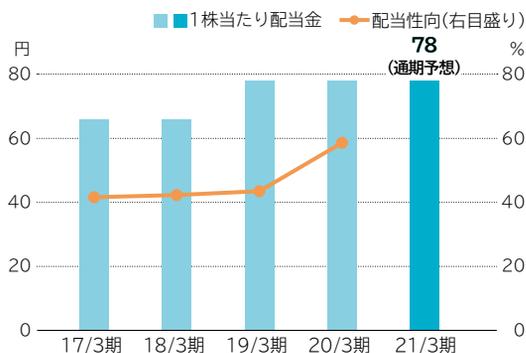
総資産・純資産・自己資本比率



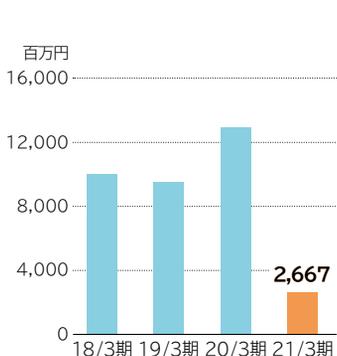
1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり配当金・配当性向



設備投資額



減価償却費 のれん償却額



研究開発費

